

2025 年 12 月 1 日

各位

会 社 名 Chordia Therapeutics 株式会社
代 表 者 名 代表取締役 三宅 洋
 (コード番号：190A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 財務部長 岡谷 大
 TEL : 03-6661-9543
 MAIL : ir@chorditherapeutics.com

営業外収益（助成金収入）の計上に関するお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は 2026 年 8 月期第 1 四半期会計期間（2025 年 9 月 1 日～2025 年 11 月 30 日）において、営業外収益（助成金収入）を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 営業外収益（助成金収入）の内容

当社は、国立大学法人京都大学と、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下、「AMED」という）の「革新的がん医療実用化研究事業」（以下、「本事業」という）における研究開発課題名「RNA スプライシング変異を有する難治性腫瘍に対する新規治療薬の非臨床試験」を進めております。

この度、本事業の 2025 年 3 月期分の助成金の金額が確定しましたので、2026 年 8 月期第 1 四半期会計期間において、営業外収益（助成金収入）として 30,000 千円を計上いたします。

2. 業績に与える影響

上記の営業外収益（助成金収入）につきましては、2026 年 8 月期第 1 四半期に営業外収益として計上する予定ですが、2025 年 10 月 14 日に公表した 2026 年 8 月期業績予想に織り込んでおります。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプライン

ンの rogocekib、MALT1 阻害薬 CTX-177 に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細については、<https://www.chorditherapeutics.com/>をご覧ください。